

平成27年度第1回総合教育会議 会議録（要旨）

- 日 時 平成27年5月25日（月）午後2時50分～午後3時50分
- 場 所 白石町役場庁舎3階大会議室
- 出席者
 - ・ 田島健一町長、
 - ・ 教育委員会：稲佐英明教育委員長、大串憲昭委員、下田幸子委員、
岸川学委員、江口武好教育長
 - ・ 事務局：
 - 百武副町長
 - 企画財政課：片渕課長、久原課長補佐、吉村政策推進係長
 - 学校教育課：小川課長、白濱主任指導主事、出雲庶務係長、森学校教育係長、大串学校給食係長
 - 生涯学習課：松尾課長、渡部文化財担当係長、永尾社会教育担当係長、井手生涯スポーツ係長

1 開会 進行（久原課長補佐）

2 町長挨拶

皆さん方ご承知の通り、今年度から地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されましたことに伴いまして、地方公共団体の長が総合教育会議を設置することになりました。今回の改正では教育委員会、及び教育長制度についても、併せて改正されたところでございますが、教育行政に対する地域住民の意向をより一層反映させ、地方公共団体の実情に応じて、地方公共団体の長と教育委員会が意思疎通を図り、地域における教育、学術、及び文化の振興の推進を図ることがその趣旨ではないかと思っているところでございます。こう言いますと、これまで、町長と教育委員会の連絡がなかったかのように聞こえるかもしれませんが、決してそうではなく、これまでも教育長さんや教育委員会事務局を通じて、密接に連絡を取り合い、教育行政に関する様々な対応をおこなってきたところでございます。本町における総合教育会議につきましては、この公開の場で教育委員会の皆さんたちと、大きな視点で意見交換を行い、ときには議論をしながら教育行政のより一層の発展につながればと望むところでございます。

3 議題

(1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正について

- ・事務局：資料1-1、1-2により、4月1日に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正について説明。

(質疑なし)

(2) 白石町総合教育会議設置要綱(案)について

- ・事務局：資料2により説明。

○教育委員：定例の会議は年に何回を考えているのか。

- ・事務局 教育委員の皆様から、今後どういったことについて協議するかというの提案をいただきながら会議自体も運営していきたいと思っているが、当面はこの大綱の策定が大きなテーマになってくる。大綱の策定と皆様からご提案いただいた事項について、次はこういうことについて話をしようかとか、事務局の方で資料等も用意して次に開催をするので、厳密に何回までという定めはせずに、いろいろ発展的に意見交換ができればということなので、回数の制限というのは特に設けないつもり。

(他に質疑がなく、設置要綱は原案のとおり承認。ここからは、会議の進行を田島町長が行う。)

(3) 大綱の策定について【進行：田島町長】

- ・田島町長：「(3) 大綱の策定について」を議題とする。事務局の説明を求める。
- ・事務局：別紙資料3、4、5より説明。
資料3、国の第2期教育振興基本計画ということで、第1部、第2部というところが該当するということが書いてあったが、第1部 総論については、教育行政の4つの基本的方向性ということで、1. 社会を生き抜く力の養成、2. 未来への飛躍を実現する人材の養成、3. 学びのセーフティネットの構築、4. 絆づくりと活力あるコミュニティの形成という4つの方向性が示されており、その大きな方向性について、成果指標、基本施策の例が示してある。まずはこの国の教育振興基本計画を参考としたい。

その次に、資料4について、白石町教育の指針ということで、これが先ほどの国の教育振興基本計画と並んで、大きなものになるのではなかろうかと考えている。

1番の基本方針には、『人と大地が うるおい 輝く 豊穡のまち』を目指す白石町の基本理念を受け、また、国際化・情報化・少子高齢化など社会の変化を認識し、地域・学校・家庭が連携しながら、郷土に愛着をもち、郷土の発展に貢献しようとする心身ともに健康な白石町民を育成するということが書いてあり、2番目には白石町教育の重点目標として(1)番から(9)番が掲げられている。3番目には2番の重点目標の具体的な施策ということで、重点目標のそれぞれに対して施策の方が掲げられている。この指針についても参考にさせていただきたい。

資料5、これが平成26年度に策定した第2次白石町総合計画。白石町のまちづくり、町の運営の一番基本となるもので、これについても教育等について網羅をしているので、参考にすると必要があると思われる。

この総合計画については基本的に6本の柱で成り立っているが、その中で特に関係があると思われる部分が第4章。「個性豊かな人と文化を育むまち」ということで、サブタイトルで教育文化の向上ということを掲げている。第1節については、個性豊かで優れた人材の育成というところで、目指すべき方向として次世代を担う人材の育成、生涯を通じ社会を生き抜くための教育の推進等ということが書いてある。

第4章の第2節、生涯学び楽しめる環境の充実というところでは、主に生涯学習関係の事項について書いてある。

第3節、地域文化の伝承と新たな魅力の創造については、芸術文化、文化財、伝統等について規定をしている。この総合計画については、役場内部の総合計画策定委員会、各課の内部、総合計画審議会の方で協議をいただいて、最終的には今年の3月議会の方で議決をさせていただいて、正式に計画として策定をしているところ。

以上3、4、5ということで、概ねこの3つを勘案しながら、白石町の大綱を策定してはどうかと思っている。今後、事務局の方で案を検討して、この総合教育会議の場で意見をいただき、素案から案といった形で進めていって、だいたい秋くらいまでには最終的に策定をできればと思っている。たった一回今日決めるという話ではなく、何回か集まって協議をさせていただければと思っているので、皆様の御意見をお願いしたい。

○教育委員：策定のやり方は事務局で叩き台を作って、それをこの会議で審議するというやり方なのか。

・事務局：案を1回提案して、協議をしていただいて注文とか意見をいただいて、また持ちかえって検討して、また見ていただくというようなことを何回か繰り返して、ということだと思っている。

○教育委員：会議の構成員は教育委員も含むわけだが、ケース・バイ・ケースを考えて例えばいじめによる自殺等が起こったときなどは、学識経験者と構成メンバーを入れ変えていくのか。

・事務局：先ほど設置要綱の方にも条文を用意していたが、関係者、学識経験者の方の出席をいただいてやることになるのではなかろうかと思っている。

○教育委員：緊急の場合はいわゆる地方公共団体の首長と教育長のみで開くことができるわけだが、もし首長が不在の時は副町長、ということもありうるのか。

・事務局：首長と教育長のみで開くことはまずないと思っているが、通常、町長不在の場合には行政事務として副町長が職務代理を行なうので、そういう形になると思う。

○教育委員：この会は、この総合計画の中の第4章について協議をするということか。

・事務局：この総合計画自体は今年の3月までで決定をしていて、さっき言ったこの大綱を作る場合、ここを参考にさせていただくということで考えている。

○教育委員：白石町の教育はどこに向かおうとしているのか、何をしようとしているのかといった大きな方向を決めるのが大綱なのかと思う。そのあたりで、この場では色々、こういうのも入れてほしい、こういうことが今問題だというような意見を出し合ったらいいのか。

○田島町長：事務局から出すというのもあるが、委員さんたちの中で議論して出していくというのもある。白石町の独自性を持った大綱を作っていくわけ

だから。

- ・事務局：双方向で考えている。委員さん方の大きな視野から見ていただくとか。どうしても事務局だけだと事務的なことに終始してしまうので。
- 教育委員：この大綱に正式な名前を付けるとしたらどういう名前になるのか。どういう文章を入れていかなければいけないのか。
- ・田島町長：総合計画の第3の、まちづくりの大綱、これはシンプルに網羅している。頭のところはまちづくりの大綱だから、白石町教育大綱にして、その中に色々あるというやり方でよいのではないだろうか。色々のところも大綱ではあるけれど、頭のところは白石町教育大綱で。
- 教育委員：箇条書き的に入れていくのか。
- ・事務局：そう考えている。名前については、法上では「大綱」としか書いていない。なので名前は私も単純に「大綱」としかないと考えていた。
- 教育委員：方法としては、年度ごとに反省を加えながらというのも、それはそれでいいと思うが、ある程度大きな方向、白石町の教育はこういう内容でこんな方向を向いているのだなど、こう行こうとしているのだなどというのを、いくつかデータがあったので出されてはどうか。
- ・事務局：我々も事務局として企画財政課でやっているが、全然教育行政の知識もなくやっているため、内容は学校教育課、生涯学習課と一緒にやりながら進めていかないとできないし、当然委員さん方のご意見を頂かないと進めていけないと思っている。
- 教育委員：町民の皆さんたちも、教育に関してのことは町長よりも教育委員の方でしてあるというイメージで取ってあったと思う。学校関係のことに役場はあまり介入してないのではないかと、教育長さんや教育委員会が学校関係のことをしてあるのだろうというイメージがあったと思う。それを、この教育会議の中では、教育委員会と首長部局と一緒にやって、そして首長が中心となって作ってあるということ町民さんたちに発信するべきだ。
- 田島町長：色々意見が出たが、大綱の策定についてはこれからも数回協議を

重ねて、事務局側の、また委員さんの中から意見を求めて揉み合わせながら作っていくことになると思う。よろしく願いしたい。

(4) 今後の教育会議の開催について

- ・事務局：資料はなし。

まずは当面、大綱の策定が大きな目標になってくるかと思うが、せつかくのこういう場が設けられたことで、オープンな形で皆さんの意見を、ということになってくるかと思う。こういうことを協議してはどうか、など皆様から意見や提案があれば、次回開催の参考にさせていただきたいので、お気づきの点があればお願いしたい。

○教育委員：定例の教育委員会の中では、毎回生徒指導の問題、学力のことなどは報告や提案で出しているが、この会議は首長が集めてどうこうというように、通常定例会議とは全然違うので、白石町としてはどうということが今一番問題・課題なのか。その辺ももし出すチャンスがあればと思う。大綱の内容、柱としてどのくらいの数を出すのか、網羅していくのか、白石町の教育、そして白石町のまちづくりに迫っていくために教育分野でなにが一番大事なのか、そのあたりをたたき合う、出し合う、そういうのがほしいと思う。

- ・事務局：今後、総合教育会議は、毎月ではないが、基本的に今日のように定例の教育委員会が終わってから行なうように考えているので、よろしく願いしたい。先ほど言われたことも研究させていただいてまた提案するのでよろしく願いしたい。

(5) その他

(なし)

4 閉会